

- 問1 聖徳太子が定めた十七条の憲法において、「天皇の命令を承った際には、必ず慎んでこれに従わなければならない」という趣旨の一節が記された主な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. 役人の心得を説くことで、天皇を中心とする政治体制を整えるため | 2. 都市の商工業者に特権を与え、外国との貿易を盛んにするため | 3. 武士同士の領地争いを裁くための公平な基準を設けるため | 4. 大名の私的な婚姻を禁止し、幕府の統制を強めるため |
|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
- 問2 聖徳太子と蘇我馬子が行った政治について、その背景と目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 仏教の普及を制限することで、神道を中心とした国家観を広め、豪族の私有民をすべて天皇の直轄とした。 | 2. 武士の力を抑えるために、有力豪族が摂政となって政治の全権を握り、独自の律令を制定して地方支配を強化した。 | 3. 天皇を補佐する摂政と有力豪族が協力することで、官位十二階などを制定し、天皇中心の中央集権体制を整えようとした。 | 4. 遣唐使を廃止して国風文化を育てるために、天皇の親政を廃止し、貴族による合議制の政治を確立した。 |
|---|---|--|--|
- 問3 推古天皇の摂政として政治を行い、冠位十二階や十七条の憲法を制定した人物は誰ですか。この人物は遣隋使の派遣や法隆寺の建立も行い、天皇を中心とする国家体制の基礎を築きました。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 菅原道真 | 2. 聖徳太子 | 3. 小野妹子 | 4. 中大兄皇子 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問4 645年から始まった大化の改新において示された、それまで有力な豪族が私有していた土地や人民を、国家（天皇）が直接支配する体制へと改める方針を何とといいますか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. 公地公民 | 2. 版籍奉還 | 3. 墾田永年私財法 | 4. 地租改正 |
|---------|---------|------------|---------|
- 問5 日本における初期の貨幣の歴史について述べた次の説明文のうち、歴史的事実として正しい内容を述べているものを一つ選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 富本銭は平安時代に入ってから、菅原道真の提案によって中国の貨幣を模してつくられた。 | 2. 和同開珎は日本で最初につくられた銅銭であり、それ以前に国内で製造された貨幣は存在しない。 | 3. 奈良時代より前につくられた貨幣はすべて金でできており、富本銭も金貨の一種である。 | 4. 7世紀後半につくられた富本銭は、和同開珎より前に発行された日本最古の銅銭とされる。 |
|--|---|---|--|
- 問6 6世紀後半から7世紀前半にかけて、朝鮮半島や中国大陆から伝わった仏教の影響を強く受け、飛鳥地方を中心に花開いた日本最初の本格的な仏教文化を何とというか答えなさい。 (2020年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天平文化 | 2. 国風文化 | 3. 飛鳥文化 | 4. 禅宗文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 飛鳥時代から律令国家の形成期において、大王が自らを中心とする国家体制の確立を目指した主な目的として、最も適切な記述を選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 中央集権体制を整えて豪族の対立を抑え、東アジアの国際情勢に対応するため | 2. 地方豪族の権力を強化し、連合政権による分割統治を行うため | 3. 民衆に参政権を与えて自由な社会を作り、国民の権利を守るため | 4. 豪族に各地の領地を自由に支配させ、武力による統一を進めるため |
|--|---------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
- 問8 白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた大和政権（日本）は、大陸からの侵攻を恐れ九州などの防衛を強化しました。その際、九州北部に築かれた土塁と堀による防御施設、およびそこに配置された兵士の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-------------|
| 1. 多賀城と防人 | 2. 水城と防人 | 3. 多賀城と健児 | 4. 水城と東山道の兵 |
|-----------|----------|-----------|-------------|
- 問9 飛鳥時代、聖徳太子が蘇我馬子と協力して政治改革を進める中で制定した、役人が守るべき道徳や政治の心得を示したきまりを何と呼ぶか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|-----------|----------|
| 1. 冠位十二階 | 2. 大宝律令 | 3. 十七条の憲法 | 4. 武家諸法度 |
|----------|---------|-----------|----------|
- 問10 大化の改新で示された「公地公民」の制度が、のちに崩れていく要因となった出来事について説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 聖徳太子が冠位十二階を定め、氏姓制度にとらわれず個人の能力によって役人を登用し始めたこと。 | 2. 武士が各地の土地を支配し、年貢の徴収権を確保するために「武家諸法度」を定めて統制を強めたこと。 | 3. 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。 | 4. 明治新政府が土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせる「地租改正」を実施したこと。 |
|--|--|---|---|
- 問11 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた倭（日本）は、唐や新羅による報復や侵攻を恐れ、外交の拠点である大宰府を守るために大規模な防衛施設を築きました。大宰府の北側に位置し、全長約1.2kmにわたる巨大な土塁と、その外側に水を貯めた堀を組み合わせた防衛施設の名称として適切なものはどれですか。 (2019年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 1. 水城 | 2. 防人 | 3. 柵 | 4. 烽火 |
|-------|-------|------|-------|
- 問12 奈良時代の711年に、現在の群馬県高崎市にあたる場所に設置された多胡碑には、ある法律に基づいて新しく郡が置かれた経緯が記されています。この時期に日本が中国の制度を参考にして導入し、全国的な行政組織の整備や中央集権化の根拠となった法律の総称を答えなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-----------|-----------|----------|
| 1. 律令 | 2. 公事方御定書 | 3. 十七条の憲法 | 4. 冠位十二階 |
|-------|-----------|-----------|----------|
- 問13 7世紀後半、倭国（日本）は友好関係にあった百済の再興を支援するため、朝鮮半島に大規模な軍を派遣しました。しかし、663年に現在の韓国付近の河口で唐・新羅の連合軍と激突し、大敗を喫しました。この出来事を何とといいますか。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|------------|
| 1. 白村江の戦い | 2. 壬申の乱 | 3. 文永の役 | 4. 白河上皇の院政 |
|-----------|---------|---------|------------|
- 問14 万葉集の中に「大王（天皇）は神でいらっしゃるの、水鳥の集まる湿地を立派な都になさった」という趣旨の歌で称えられた天皇について、その統治の背景として最も適切な説明はどれか。 (2022年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 仏教による国づくりを目指し、全国に国分寺や国分尼寺を建立して、東大寺に大仏を造立した。 | 2. 大化の改新を断行し、蘇我氏を打倒することで、地方の豪族が支配していた土地と民を直接統治する仕組みを作った。 | 3. 冠位十二階を制定することで、家柄にとらわれず才能のある人物を役人として登用する制度を整えた。 | 4. 壬申の乱に勝利したことで絶大な権力を握り、天皇を神格化して官僚制の整備や律令の編纂を進めた。 |
|--|--|---|---|